

震災ニ因ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案外一件特別委員會議事速記録第一號

(四〇)

付託議案
復興貯蓄債券法案

委員氏名

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵阪谷 芳郎君

武富 時敏君
神野勝之助君
男爵池田 長康君
藤田 四郎君
高田 早苗君
花井 卓藏君
安田善三郎君

大正十三年七月十四日(月曜日)午前九時三十六分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ震災ニ依ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案竝ニ復興貯蓄債券法案ニ關シマスル審査ヲ開會イタシマス、先ヅ震災ニ依ル喪失無記名國債證券ニ關スル法律案ヨリ先ニ始メタイト思ヒマス、是ニ付キマシテ、過般議場デ大藏大臣ヨリ一應ノ御説明ハアリマシタケレドモ、甚ダ御手数デゴザイマスガ今一應御説明ヲ煩シマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 此法律案ニ付キマシテ、唯今委員長カラ御話ノ通り本會議ニ提案ノ際ニ大體ノ説明ヲ申上ゲタノデアリマス、尙ホ委員

會ヲ開クニ當リマシテ、一應ノ説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、昨年九月ノ震災ニ依リマシテ、或ハ毀損ヲ致シ、或ハ喪失ヲ致シマシタ國債證券ハ正確ナ所ハ分リマセヌガ、大分巨額ニ達シテ居ルヤウデアリマス、其中政府ノ保管中ニ屬シテ居リマシタモノモ、千數百萬圓ノ多キニ達シテ居ルヤウデアリマス、而シテ現行ノ國債ニ關スル法律ノ規定スル所ニ依リマスレバ、其失ヒマシタル所ノ國債證券ガ記名デアッタ場合ニハ、國債ニ關スル法律第五條ニ依リマシテ、其記名者カラ直チニ取扱銀行ニ届出デマシテ、届出後三箇月ヲ經過シテ、尙ホ發見ヲシナカッタ時ハ、代リ證券ノ交付ヲ請求スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、代リ證券ノ交付ニ依リマシテ喪失ニ係ル元證券ハ、是ハ記名ノ場合デアリマスガ、無記名ノ場合ニ於テハ絕對ニ代リ證券ノ交付ヲ致シマセヌ、唯國債ニ關スル法律第四條ニ依リマシテ、其證券ノ持參人ガ現金ノ償還又ハ利子ノ支拂ヲ受ケマシタ場合ニハ、其金額及ビ其支拂ノ日以後ノ利子ヲ辨償スベキ旨ヲ約束イタシマシテ、擔保ヲ提供シ又取扱銀行ガ確定ト認メタル保證人ヲ立テ、以テ元金ノ償還ト、利子ノ支拂ヲ請求スル、即チ所謂承認拂ヲ受ケルコトガ出來ルヤウニナツテ居ル、斯ノ如クニ銀行ノ國債ニ關スル法律ノ規定ニ依リマスレバ、喪失イタシマシタ、無記名證券ニ對シテハ、絕對ニ代リ證券ヲ交付スルコトヲ認メテ居リ

マセヌ、併ナガラ前ニ述ベマシタ通り喪失シマシタ證券ガ極メテ多額ニ上ボツテ居リマスノト、今一ツニハ復興復舊ニ伴ヒマシテ、ソレヲ助成シマスル一助タルコトニ鑑ミマシテ特ニ救済ノ方法ヲ講ズルノガ適當デアルト認メタ次第デアリマス、依テ茲ニ機宜ノ處置ト致シマシテ昨年九月ノ震災ニ因リ喪失シマシタル無記名國債證券ニ對シテハ特ニ代證券ノ交付ノ途ヲ開クノ必要アリト認メテ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙ホ是ハ大體ノ説明ニ過ギマセヌガ、詳細ノ點ニ至リマシテハ御質問ニ應ジマシテ政府委員カラ詳シク御説明ヲ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 御質問ガゴザイマスレバ……

○花井卓藏君 只今ハ大藏大臣ヨリ御説明ガアリマシタガ、官府以外ノ私人ノ方ニ屬スルモノデ、凡ソドノ位ノ數字デアルカト云フコトハ御調査ニナツテ居ラヌノデスカ

○政府委員(富田男太郎君) 此ノ官廳以外デ持ッテ居リマシタル國債證券ノ中デ喪失シタモノガドノ位ニナルカト云フコトハ今日正確ナル計算ハ勿論アリマセヌ次第デアリマスガ、唯日本銀行ノ本店ニ喪失證券ノ復活ヲ申出デマシタ數ガ六月ノ九日マデノ計算ニ於キマシテ、人員デ六百三十一人、金額デ五百八十万圓ニ達シテ居リマス、ソレ以外ニ隨分澤山アラウト思ヒマスガ、現在デハドノ位アルカト云フコトハ計算イタシテ居リマセヌ

○男爵阪谷芳郎君 利息ヲ渡サヌノデ分リハシマセヌカ

○政府委員(富田勇太郎君) 震災以來、公債ノ利子ヲ取リニ來ナイモノガドレ位アルカト云フ御尋デアッタノデアリマスガ、今大藏省デ調べテ居リマス所ニ依リマスルト云フト、昨年ノ九月一日拂ノ公債ノ利子ニシテ今日マデ請求ニ來ナイモノガ四百七十萬圓アリマス

○藤田四郎君 利子額デゴザイマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 左様デゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 額面ニ直シマスト幾ラニナリマスカ御分リニナリマセヌカ

○政府委員(富田勇太郎君) ソレハ直グニ直シ得ルノデゴザイマスガ……額面ニ直シテ今チヨット計算シテ居リマセヌガ……後程マデ御待チテ願ヒマス

○藤田四郎君 十二月ト今年ノ三月ノ分ハ幾ラニナリマスカ、昨年九月一日渡シノ分ガ四百七十萬デ、十二月ニ受取ラナイ分ガドノ位、今年ノ三月ノ分ガドノ位ト云フコトハ分リマセヌカ

○政府委員(富田勇太郎君) 現在調査ガアリマスルノハ昨年ノ九月一日拂ノ利子バカリデアリマシテ、其後ノ分ニ付キマシテハマダ正確ナ調ガアリマセヌ、ドウセ日本全國ニ互ッテ居リマスカラ正確ナ計算ハ約一年以上掛カルト思ヒマス

○藤田四郎君 官廳ノ方ノナクナリマシタ分ハ……

○政府委員(富田勇太郎君) 官廳ノ分トシマシテハ供託局其他ノ官廳ニ於テ喪失シマシタル分ト、

ソレト此郵便貯金者ノ爲ニ日本銀行デ購入保管シテ居ル分ガアリマス、供託局ニ於キマシテ喪失シマシタ所ノ國債ハ約二千二百萬圓デアリマス、ソレカラ郵便貯金者ノ爲ニ購入保管シテ居リマス國債ニシテ焼ケマシタモノガ……今ノハチヨット間違ヒマシタ、郵便貯金者ノ爲ニ購入シテ居リマス國債ハ焼ケマセヌノデアリマシテ、其分ハ興業債、勸業債等ノミガ焼ケテ居リマス、今ノハ間違ッテ居リマスカラチヨット訂正イタシマス

○藤田四郎君 千四百七十萬圓ハ國債デナイノデスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 千二百萬圓ト申上ゲマシタノデスガ……千四百七十萬ト云フ數字ハ私ハ申上ゲマセヌ

○藤田四郎君 千四百ハ間違ヒマシタ、四百七十萬圓ノ九月一日拂ノ利子ヲ取リニ來ナイモノノ利子額ハ四百七十萬圓ト云フコトデアルガ、此中ニハ記名モ無記名モ這入ッテ居ルト云フ御答辯デアリマスガ、サウスルト是ノ内譯ハ御分リニナッテ居ルノデスカ、記名ト無記名ト……

○政府委員(富田勇太郎君) 左様デス

○委員長(子爵前田利定君) 今ノ四百七十萬圓ト云フモノハ無記名ダケデスカ、記名モ這入ッテ居リマスカ

○政府委員(青木得三君) 唯今、此記名ト無記名トノ内譯ハ調査イタシテ居リマセヌデゴザイマスガ、併シ大部分ハ無記名ノ公債ニナッテ居リマス、尙ホ此四百七十萬圓ガマダ利子ヲ支拂ヒマセヌケレドモ、全部是ガ喪失シテ居ル國債デアルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ

○政府委員(富田勇太郎君) ソレハ記名無記名兩方通ジマシテデアリマス

○藤田四郎君 此四百七十萬ノ中ニハ、既ニ申出デタノデゴザイマスガ、是ガドレダケ位デアリマスカ、或ハ銀行ノ擔保ニ這入ッテ居ルノガ幾ラ、銀行ガ自ラ持ッテ居ルト云フモノガ幾ラ、一私人ノ持ッテ居ルモノガドレ位失ツタカト云フコトガ御分リニナッテ居リマセウカ、一私人ノ持ッテ居ッタ、或ハ銀行ニ擔保ニ這入ッテ居ッタト云フ區別ガ分リマスナラバ、大體デ宜シウゴザイマスカラ伺タイ

○藤田四郎君 焼ケタノガ千四百七十萬デ、其中供託局ノ分ガ千二百萬圓ト御話シニナッタヤウデアリマスガ、アト二百七十萬圓ハ何デスカ

○政府委員(富田勇太郎君) ソレハ地方債、外國ノ公債社債、株券其他デアリマシテ、此法律ニ這入ラス分デアリマス、此法律ノ適用ヲ受ゲマス國債以外ノ分ニ付キマシテハ更ニ別ニ……

○政府委員(富田勇太郎君) 今ノハ日本銀行ノ窓口ヘ代證券ノ交付ヲ請求シテ來タ額ヲ申上ゲタノデアリマス

○政府委員(富田勇太郎君) 今申上ゲマシタ四百七十萬ト云フモノハ九月一日拂ノ利子ヲ取リニ來

○藤田四郎君 官廳ノ方ノナクナリマシタ分ハ……

○藤田四郎君 五百八十萬圓ハ……

○政府委員(富田勇太郎君) 其内譯ハ唯日本銀行ノ窓口ニ於テ請求シテ參タモノヲ總計シタモノデアリマス、其計數モ唯書キ上ゲタバカリデ正確ナコトハ分リマセヌ、大體ノ窓口ノ取扱高ハ是レ位ニナツテ居ルト云フコトヲ申シテ居ルダケデアリマス

○藤田四郎君 此日本銀行ノ窓口ニ交付ノ要求ヲシタト云フハ、是ハ政府デ何トカシテヤラウト云フヤウナコトガアリマシタ爲ニ出タノデアリマセウカ、全ク之ヲ失ヒマシタノデ困ルト云フコトデアリマスレバ、當時既ニ昨年中ニ何トカ申出テ居ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、或ハ政府デモ法案デモ出シテ何トカシヤウト云フノデ……實際困ツテ居ルモノナラバ昨年十月十一月ニ申出テ居ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、此點ハドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 今ノ五百八十万圓ノ申出デマシタル期限ハ、今年ノ六月九日マデニ日本銀行ノ窓口ニ參リマシタモノヲ集計シタノデアリマス、其多クハ昨年中ニ申出テ居ルノデアリマス、即チ九月一日ノ震災以來引續イテ日本銀行ニ申出タモノガ集計ガ五百八十万……

○藤田四郎君 昨年既ニ申出タルト云フモノナラバ、唯窓口ト云フノデナク、銀行ノ擔保ニ取ツタトカ、銀行デ保管シテ居タトカ云フヤウナコトハ分リサウナモノデアリマスガ……

○政府委員(富田勇太郎君) 或ハ其今ノ申出タ所ノモノニ付キマシテ調べマシタナラバ分ルト存ジマスルケレドモ、從來、此代證券ハ發行シナイコ

トニシテ居タノデアリマス、日本銀行デモ唯參考ノ爲ニ調べタノデ、何等救済スル爲ニ計算シテ居タノデハアリマセヌ、併ナガラ本法ガ成立ニナツタ後ニ於キマシテ、一々之ヲ調べルコトハ非常ニ面倒グラウト考ヘマスルノデアリマス

○藤田四郎君 ソレカラ此供託ノ方ノ千二百万圓デゴザイマスガ、是ハ無論斯ウ云フモノハ、ハッキリ分ツテ居ルノデゴザイマセウカ、此分ハ……

○政府委員(富田勇太郎君) 其分ハ、ハッキリ分ツテ居リマス

○藤田四郎君 尙ホモウ一ツ伺ヒマスガ、是ハ法律上ノ御扱ヒニナル上ニ於テ、滅失、紛失ノ御説明ハ、昨日日本會デ聞キマシタガ、扱方ニ於テハ、此法律ニ於テハドツチモ同ジコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 滅失ト云フコトノ査定ガ出來マシタモノニハ代證券ヲ交付スルコトニナリマス、擔保ヲ要セズシテ交付スルコトニナリマス、紛失ト云フ査定ニ相成リマシタモノニ付キマシテハ、擔保ヲ徵シマシテ代證券ヲ發行交付スルト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○藤田四郎君 甚ダ詰ラヌコトヲ御尋ネスルヤウデスガ、名稱ト云フモノト、記號ト云フモノト、番號ト、ソレヲ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(富田勇太郎君) 公債ノ名稱ト申シマスルト云フト、例ヘバ五分利國庫債券ト申シマス時ハ、五分利債券ガ名稱デ、い號、ろ號、は號、或ハ第一回、第二回ト申シマスノハ、ソレガ記號デアリマス、其下ニ百トカ、二百トカ云フ番號ガ附

イテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 千二百万ノ供託金ヲ燒イタト云フノハ、重大ナ責任ダト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デ、サウ澤山燒イタノデアリマスカ、其保管方法ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 供託ニナツテ居リマスル有價證券ノ事實上ノ保管ハ、供託ノ法則ニ依リマシテ日本銀行ガ之ヲ致スコトニ相成ツテ居リマス、此燒ケマシタ分ト云フモノハ、横濱ニ於テ起ツタ事柄デアリマシテ、此震災ノ爲ニ横濱ノ供託局ニ於テ保管シテ居リマシタモノ、即チ詳シク申シマスレバ、詰リ代理銀行ガ日本銀行ノ代理ヲ致シマシテ保管ヲ致シテ居リマシタモノガ、震災ニ依テ燒ケマシタヤウナ次第デアリマス

○花井卓藏君 私モ阪谷男爵ト略、同様な點カラ疑ヲ起スノデスガ、私人ノ分ニ屬シテノ調査ハ行届イテ居ナイ、我々ハ此法案ヲ迎ヘムトスル場合ニ於テ最モ同情ヲ寄スベキモノハ私人ニ屬スルモノデアル、官廳ハ保管中ノモノヲ滅失若クハ紛失セシメタ、而モ大變ナル數字デアル、本法ハ其官廳ノ責任ヲ此方デ緩和ヲ求メル趣旨ガ重ナルモノデ、私人ノ權利ニ屬スル方ハ寧ロ見テ居ラナイト云フ風ニ心得テ宜シイノデアリマセウカ、其調査ノ不行届ノ點ニ於テ此感ヲ深クスルノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 供託ノ方ノ關係ニ付キマシテ、私ヨリ御答辯イタシマス、アノ場合ノ事柄トシマシテ、法律上ノ見地カラ見マシテ、供託當局ニ責任ガアルトハ思ヒマセヌノデアリマ

ス、併ナガラ兎モ角モ供託局ニ於テ保管シテ居リマスルモノガ、縦令、天災ノ爲トハ云ヒ、是ガ滅失イタシマシタコトニ付テハ、供託當局トシテハ出來得ル限リノ手段ヲ執リマシテ、サウシテ其損害ヲ輕クシ、供託者ニ迷惑ノ掛カラナイヤウニ致シタイト云フ考ヲ有テ始終調査ヲシ、努力モ致シテ參タ次第デアリマス、此段御承知ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 供託者ガ受領證ヲ持ッテ居ラタラバ、其受領證ノミデ國家ハ責任ヲ荷フベキモノデヤナイノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ノ御尋デアリマスガ、受領證ガ存シテ居リマスレバ、即チ供託ノ關係ガ存在シテ居リマシタコトハ、誠ニ明白デス、ソコデ其法律上ノコトヲ申シマス、供託ノ關係ノ明白ナリシ場合、供託局ハ其保管シマシタモノガ滅失イタシタニ拘ラズ、更ニ矢張り之ヲ還付ラスル所ノ義務ガアルト云フコトニ付キマシテハ、私共ノ見ル所ニ依リマスレバ、アノ場合即チ不可抗力ニ依テ保管物ガ滅失イタシマシタ爲ニ、法律上ノ責任ト致シマシテ、政府ガ保管物還付ノ義務ヲ負フテ居ルト云フコトハ言ヘナイ、其義務ハ無クナッテ居ルモノト、斯ウ云フ解釋ヲ執ッテ居リマス

○花井卓藏君 御説明ニ付テハ私ハ別ニ法律上意見ガアリマスガ、ソレハ暫ク措キマシテ、御考ノ通りトシタナラバ、國家ニハ責任ハ無イト云フコトデアリマスガ、其責任ノ無イ者ニ向ッテ國債ニ關スル例外ノ此法律ヲ御出シニナルト云フノハド

ウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ私ヨリ申シマスルヨリモ大藏當局ノ方ヨリ申上ゲル方ガ便利ト思ヒマスガ、是マデノ關係ガアリマスノデ、一應私ヨリ御答ヲ致シタイト思ヒマスガ、即チ提案ノ理由ニ於テモ、當局ヨリ説明シテ居リマスル通りニ、法律上ノ問題トシマシテ之ヲ供託ノ關係ニ徵スルニ、政府ハ法律上其保管物ヲ返還スルノ義務ハ有ッテ居ナイ、又ソレヲ國債ノ法則ヨリ見マシテモ、今日ノ法律ニ依リマスレバ燒ケマシタ場合ニ更ニ代證券ヲ交付スルト云フコトノ義務ヲ負ウテ居ナイト云フコトニ相成ッテ居リマス、併ナガラ提案ノ理由ヲ大藏大臣ヨリ述ベラレマシタ通りノ事情ニ依リマシテ、此際、特ニ政府ハ發行ヲスルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス

○花井卓藏君 代證券……本法ニ所謂代證券ト云フモノハ國債法ニ所謂代證券トハ意味ガ違フノデスネ、唯今ノ説明ニ依レバ意味ガ違フモノト解釋シテ宜シウゴザイマスガ、私ハ唯今ノ御説明カラ考ヘテ見ルト、代證券ト云フコトハ少シ當ラナイノデ、新ニ證券ヲ發行スル、本法ニ依リテ新ニ證券ヲ發行スルト云フ趣旨ト解セザルヲ得ナイ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ文字ヲ訂正シテ置キマス、此案ニ付キマシテハ新證券ヲ交付スルト云フコトニ致シテ居リマス

○花井卓藏君 サウ云フコトガ書イテアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) ハイ
○藤田四郎君 チョット唯今ノコトニ付キマシテ

……十一條ノハ今ノ分ニナリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 御推察ノ通りデアリマス

○花井卓藏君 本案ニハ成程、新證券ト云フ文字ガ使ハレテ居リマス、併ナガラ是ハ文字デ、實質ハ代證券ノ意味デアルト云フ事柄ニ解セラルベク理由書ニハ明白ニ大正十二年九月ノ震災ニ因リ無記名國債證券ヲ喪失シタル者ニ對シテ代證券ヲ交付スル等特別ノ規定ヲ設クルノ必要アリ、斯ウ書イテアリマスカラ、私共ノ疑ヲ起シタノハ、名ヲ新證券ニ藉リテ、實ハ國債法ニ大例外ヲ設ケテ、實質ニ於テハ代證券ヲ交付スルト云フ趣旨デアラウト思ヒマスガ、ドウ御考ヘニナリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 此法案ノ提出ノ理由書ニアリマスル此代證券ト云フノハ、用語ガ正シクナイノデ、寧ロ新證券ノ意味デアル、斯ウ御了承ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 私ハ立法自體ニ決シテ反對スル譯デハアリマセスガ、本法ハ將來ヲ慮ッテ見ルト云フト、立法的ニハ非常ナル是ハ重大ナル問題ガ含マレテ居ルノデハアルマイカト云フヤウナ考ヲ懷ク、抑、此審査會ト云フモノハ何デスカ、審査會ハ行政機關ノ一ツニ相成リマセウガ、審査會ノ爲ス査定ト云フモノハ裁判デスカ、或ハ單ナル行政處分デスカ、或ハ言葉ヲモウ少シ短クシテ單ナル行政行為ト云フ位ノモノデアリマスガ、此御答ヘニ依テ疑ハ必ズ深クナルダラウト私ハ思フ、問ハ更ニ御答ヲ得テ進ミタイト思ヒマス

○政府委員(林頼三郎君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御

答ヲ致シタイト思ヒマス、御尋ハ誠ニ御尤ノコト
デアリマシテ、此審査會ノ査定ト云フモノガ法
律上ドウ云フ性質ヲ有テ居ルカト云フコトハ多
少ノ論ガアルト考ヘマスガ、併ナガラ政府當局ノ
考ト致シマシテハ、裁判デハナイ、斯ウ云フコト
ダケハ明白ニ考ヘテ居リマス、先ヅ行政行為デア
ルト云フヤウニ見ルノガ相當デハナイカト考ヘマ
ス、詰リ行政處分トシテ此法律ニ依テ證券ヲ新ニ
交付スル、斯ウ云フコトヲスルニ付キマシテ手續
ヲ鄭重ニスル爲ニ、行政官吏ガ單獨ニ査定ヲセズ
シテ、適當ナ調査機關ヲ設ケテ、其調査機關ガ査
定ヲスルト云フノデアリマシテ、行政處分ノ鄭重
ニスル、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、一ツノ行
政行為デアアル、斯ウ云フ考ヲ有テ居リマス

○花井卓藏君 大藏大臣ニ御尋ヲ致シマスガ、唯
今ノ政府委員ノ御説明ニ依リテ單ナル行政行為ナ
リト云フコトヲ了解イタシマシタ、而シテ本法ガ
國債法ニ一ツノ例外ヲ作ルモノダト云フ御説明モ
承リマシタ、茲ニ於テ私ガ大臣ニ質サントスル所
ノモノハ、行政行為デ私權ノ創設ヲスルト云フコ
トガ本法ノ趣旨デアリマスカ、行政行為ニ依リテ
權利ヲ創設セラル、ト云フ趣旨ニ了解シテ宜シウ
ゴザイマス

○政府委員(林頼三郎君) 國債規則ニ依リマスト
云フト再下付ヲ請求スル權利ハ無いノデアリマ
ス、此法律ニ基イテ國家ガ再下付ヲ致ス、ソレニ
付キマシテ行政行為デ事實ヲ明カニ致シマシテ、
行政行為デ事實ガ明カニナツタ場合ニ於テ此法律
ニ基イテ再下付ヲスル、斯ウ云フ關係デアリマス

○花井卓藏君 再下付ト云フ言葉ハ寧ロ先キノ政
府委員ノ説明ト對照ヲ爲シテ居ラヌ、代證券ニア
ラズシテ新證券デアアル、國債法デハ認ムベカラザ
ル所ノモノデアアルガ、本法ニ於テ認ムルノデア
ル、即チ審査會ノ査定ナル行政行為ニ依テ之ヲ認
メテ、新證券ヲ交付スルノデアアル、即チ是レ行政
行為デ權利ヲ創設スルト云フ事柄ニ迎ヘザルヲ得
ナイヤウニ私ハ考ヘマスガ、如何デアリマスカ、
實ニ多大ナル數字、而モ私ノ見解トスレバ此供託
中ノモノニ對シテハ國家ハ責任ヲ負フベキモノニ
アラズヤト云フ感モ有ツノデアリマス、此御答ハ
大臣ヨリ明確ニ承テ置キタイ

○政府委員(林頼三郎君) 唯今、再下付ト云フ言
葉ヲ使ヒマシタルガ、是ハ成程、言葉トシテハ正
確デナイカモ知レマセス、兎ニ角、要スルニ新下
付ノ意味デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○藤田四郎君 唯今ノ事柄ニ付テ尙ホ了解シテ置
キタイト思ヒマスルノハ、此第十一條ノ分ハ個人
ノ持ッテ居ルノト違フヤウデアリマスカ、是ハ初
ヨリ政府デ解決テ居ル事柄デアリマスカラ、昨年
ノ十一月ノ臨時議會ニデモ若シ出スベキモノナラ
バ出サレベキモノト思ヒマスガ、ソレガ今日マデ
ドウシテ遅レタノデアリマセウカ、責任上……或
ハ解散トカ云フコトガデアリマシタカ知レマセヌケ
レドモ、政府トシテハ最モ責任ノアル事柄ト思フ
ノデアリマス、必ズ是ハ先ヅ復興ノ事業ノ一ツト
シテ出サルベキモノデ、十一月ノ議會、通常議會
ニモ出サルベキモノト思ヒマスガ、其時ニ是ハ出
來テ居リマシタデアリマセウカ、伺ッテ置キマ

ス

○政府委員(池田寅二郎君) 供託ニ關スル範圍ニ
於テ私ヨリ御答ヘ致シマス、震災後直チニ諸般ノ
調査ヲ開始シマシテ、出來得ル限り此恢復ヲ致シ
タイト云フ希望ヲ以テ色々取調ベテ致シテ居リマ
シタヤウナ次第デアリマス、之ヲ急速ニ取計フコ
トノ出來マセナダノハ實ハ我々ノ力ノ足ラザリ
シ結果デアリマス、敢テ怠ツタ次第デアリマセ
スガ、左様御承知ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 大藏大臣ノ御答ヲ要求イタシテ居
ルノデアリマスガ、御考慮中デアレバ問ヲ進メタイ
ト思ヒマス、宜シウゴザイマス……行政行為デ
アルト云フコトヲ申サレタノデアリマスガ、案ノ
第七條ニ書イテアリマス、審査ノタメ必要ナル場
合ニ於テ鑑定ノ訊問ヲスル、其他ノ證據調ベ
ヲスル、斯ウ云フコトガデアリマスガ、是ハ民事訴
訟法、若クハ刑事訴訟法ヲ準用セラレテナサル譯
ナンドセウカ、此一條ノミデ運用ガ出來ルト云フ
御趣旨デアリマスカ

○池田寅二郎君 御尤ノ御質問デアリマスガ、手
續ノ運ハ別ニ第十條ヲ以チマシテ勅令ヲ以テ定メ
ル積リデアリマスガ、大體ノ唯今考ニ於キマシテ
ハ、先年特殊權利審査ト云フコトガ、是ハ緊急
勅令デアリマスガ、出來マシテ、其手續ガ民事訴
訟法ノ規定ヲ大體踏襲シテヤルト云フコトニ相
成ッテ居リマス、其例ニ倣ヒマシテ、成ルタケ民
事訴訟法ノ規定ニ依テ此取調ヲ進メル、成ルタケ
正確ヲ期シマス爲ニ其方法ニ依ルト云フ今日ノ考
デアリマス

○花井卓藏君 私ノ淺學デアルカモ存ジマセヌガ、行政廳ニ對シテ訴訟ノ手續ヲ歩ンデ宣誓ヲシテ、證人鑑定人タラシムルト云フコトハ、少クトモ日本ニ於テハ初テノヤウニ思フ、恐ラクハ各國ノ立法例モ亦然ラムト私ハ信ジテ居リマス、裁判デハナイト言ハレタ、單ナル行政行為ト言ハレタ、其仕事ノ爲ニ日本臣民ハ……イヤ言葉ガ間違ヒマシタ、何人ヲ問ハズ法律ニ別段ノ規定ナキ限リハ民事訴訟ニ關シ裁判所ニ於テ證言スル義務アリト云フコトガ訴訟法ニハ書イテアリマスガ、行政廳ニ向テ證言スベキ義務ト云フモノハ國法ハ課シテ居ラスヤウニ思フ、是ガ或實體的ノ根本則ヲ定ムル法律ト云フナラバ格別、國債法ト云フツノ法律ガアツテ、其國債法ノ命ズル所ニ依レバ認メラザル所ノ權利ヲ作り出ス所ノモノデ、或意味ニ於テハ國家ノ慈善ト言ヘルカモ知ラヌト思ヒマスガ、全體、此法律ガ行ハレルト云フト、是ガ一ツノ例トナツテ將來亦之ニ倣フト云フコトニナル、行政行為ニ對シテ、裁判手續ニ於テノミ認ムル證人鑑定人ナドノ訊問ヲ許スト云フヤウナコトハ政府ハ差支ナイト云フ御考デアリマセウカ、或ハ特殊權利調査會等ニ於テ類似ノモノガアルト云フヤウニ御説明ニナルカモ存ジマセヌガ、是ハ或ハ行政行為トモ見ラレ、バ或ハ裁判行為トモ見ラレルノデアツテ、而モ基本ハ大キイ或モノガ存在イタシテ居ル、本件ノ如キモノトハ全ク性質ガ違フノデアリマスカラ、ソレヲ私ハ心得テ質問ヲ致スノデアリマスカラ、其趣旨ニ於テ御答ヲ得タイ

○政府委員(林賴三郎君) 裁判所以外ニ於テ宣誓ヲ命ジテ取調ヲサセルト云フコトニ立法問題トシテハ餘程考究シナケレバナラスモノト考ヘテ居リマス、原則トシテハサウ云フ事ハ裁判所ガヤルト云フコトニシナケレバナラスト考ヘマスガ、サレバト言テ裁判所デナケレバサウ云フ處置ハ全然執レナイ、斯ウ云フコトニハナラスト考ヘマス、矢張り實際ノ必要ニ鑑ミテ是非サウ云フコトガ適當デアルト云フコトニナリマスレバ、法律ニ依テ之ヲ定ムルト云フコトモ少シモ差支ナイト考ヘマス、ソコデ今日マデサウ云フ事例ガアルカドウカト云フ御尋モアリマシタガ、今實ハ餘リ覺エテ居リマセヌガ、一ツハ今仰セニナツタ特殊權利審査會、ソレカラ多分特許局デ審査ヲシマス場合ニハ宣誓ノ上ニ於テ取調ベマスルト云フコトガ出來ルヤウニナツテ居ルト記憶イタシテ居リマス、サウ云フ次第デ、今日デモ裁判所外ニ於テモ實際上ノ必要ガアル、サウシテソレガ適當デアルト云フヤウナ場合ニ於テハ矢張り宣誓ノ上ニ於テ取調ヲシテ居リマス、ソコデ此法律ノ場合ニ於キマシテハ兎ニ角一大變災ニ依テ證券ガ滅失若クハ紛失ト云フ關係ヲ明カニスルノデアリマスカラ、此審査ト云フコトハ相當ニ困難デアラウ、ドウシテモ關係人ガ眞實ヲ申立テテ少シモ嘘ハ言ハヌト云フコトニナラスト云フト査定ガ誤ルト云フコトニナリマス、サウスルト云フト大變ノ結果ガ起リマスカラ、ドウシテモ査定ヲ誤リナク致シマスルノニハ宣誓ヲ命ジテ陳述者ニ責任ヲ自覺サセマシテ、其上デ陳述ヲシテ貰フ、斯ウ云フコトニシナケレバナラスト、實際的ノ立場カラ考ヘテ居リマス、ソ

レハ此法案ニモ斯ウ云フ處置ヲスルコトノ起ル次第デアリマス、法律トシテ別ニ差支ナイト考ヘマシシ、實際上ハ是非法律ニ致シタイト云フ考デアリマス

○花井卓藏君 特許局ノ例ハ能ク心得テ居リマスガ、是ハ全ク一ツノ裁判行為デ、特許局ノ審議デ不當ナル場合ニ於テハ大審院ニ上告スルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、是ハ當然本法ハ、私ハソレトハ餘程違フト思フ、全體査定ニ不服デアツタ場合ニハ行政裁判所ニ出訴スルコトガ出來ル規定デモ有ルカト全文ヲ通覽イタシタノデアリマスガ、無イノデアリマス、玆ニ於テ愈々疑ヲ深クスルノデ、名ハ行政行為ガ、事實ハ裁判デ、サウシテ其運用ハ唯一ツノ審査會ノミデアアルノダ、頗ル重大ナル機關ノヤウニ私ハ感ゼラレルノデアリマス、ソコデコダハリノ無イヤウニスルニハ、寧ロ本法ノ如キ規定ヲ立テ、査定ノ當否ニ付テ當事者ニ服セザル點ガアツタナラバ進ンデ行政裁判所ニ行クト云フ途ヲ開カレタナラバ、種々ナル點ニ於テ宜シクアルマイカト云フ感ヲ私ハ有ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ御詮議ハ無カッタノデアリマセウカ

○政府委員(林賴三郎君) 唯今ノ御質問中ノ御意見ハ一面カラ見レバ誠ニ御尤デアルト考ヘマス、此點ハ立案ノ際ニ相當ニ考究シタノデアリマスガ、結局權利ガ有ツテ、ソレヲ主張スル關係ニナツテ居ルノデナクシテ、權利ハ無イケレドモ、此法律ニ依テ、事實明白ナルモノニ新ニ下付スル、斯

ウ云フ關係ニナツテ居ル、ソコデ此事實ヲ明カニスルニ付テノ手續ハ非常ニ鄭重ニシテヤル、ソコデ明白ニナツテ居ル者ニ下付スルト云フ關係ニナル、從テソレニ對シテ不服ノ途ヲ設ケルニハ及ブマイト云フ考デ此案ガ決マリマシタ、御意見ハ私ハ御尤ノ點ガアルト考ヘマス、此案ノ成立ノ經過ハサウデアリマス

○花井卓藏君 警察犯處罰令第二條二十一號「官公署ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ其ノ義務アル者ニシテ故ナク申述ヲ肯セサル者」斯ウ云々規定ガアル、是ハ行政官廳ニ向テ取調ヲ受ケ、偽ヲ言フ場合ニ規律スル一般法、之ニ依レバ寧ロ當然デハナイカト思フノデスガ、殊ニ刑法ノ規定ヲ眞似ラレタ譯ハドウ云フ理由ニ依リマスルカ、或ハ事態ガ重イカラト云フ御説明ニ歸著スルデアラウト思フノデスケレドモ、併シ事態ノ重イモノデ、警察犯處罰令ニ含マルベキモノハ本法ヲ除ク以外ノ總テデアルト云フコトヲ考ヘタナラバ事態ノ重シトノ理由ガ意味ヲナサヌヤウデアリマスガ、其邊ノ御説明ヲ煩シタイト考ヘマス

○政府委員(林頼三郎君) 唯今ノ御尋ハ第八條ニ付テノ御尋ト考ヘマスルガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、紛失、滅失ノ事實ヲ明カニスルト云フコトハ非常ニ困難デアルノデアリマス、其審査ノ正確ヲ期スル上ニ於テハ、當事者ヲ訊問スルニ付テ、ドウシテモ當事者ノ責任ヲ自覺セシメル上ニ於テ、宣誓ト云フ形式ガ必要デアラウ、是ハ審査ノ上ニ於テ當事者ノ訊問ト云フコトハ必要デアアル、當事者訊問ノ結果陳述ノ正確ヲ期スルノニ

ハ、唯宣誓モ何モセズ返答スルト云フダケデハ十分デアアル、ドウシテモ宣誓ト云フコトハ是非ヤルコトガ必要デアアルノデアリマス、サウ致シマスルト何カソレニ制裁ヲ加ヘマセスト云フト、宣誓ヲ命ジマシタ十分ノ效果ガナイト云フコトニナラウト考ヘマス、ソレニハ又相當ノ程度ノ制裁デナケレバ目的ヲ達セヌ次第デアリマス、此警察犯處罰令等ノ規定ハ如何ニモ制裁ガ輕イノデアリマシテ、之ニ依テ宣誓ヲセシメテ陳述セシメルト云フ目的ヲ達スルト云フコトハ困難デアラウト考ヘマス、宣誓ノ上、偽ヲ言ヘバ重イ制裁ガアルト云フコトヲ以テ警戒イタシマシテ、審査ノ際ニハ全ク偽ハ言ハヌ、斯ウ云フヤウナコトニシテ行キタイト云フ考デ、大體刑法ノ偽證ニ對スル制裁ト同ジヤウナ制裁ヲ設ケタ次第デアリマス

○花井卓藏君 日本ノ法律ニハ本人ノ宣誓ト云フ規定ハナイノデスガ、私ハ常ニ此本人ノ宣誓ト云フ事柄ヲ立法上ニ迎ヘタイト云フ考ヲ持ツテ居ル、本法ノ如キ場合ニハ、實ハ本人宣誓ト云フコトヲ認メテ、サウシテ本人ノ背宣誓ノ場合ニ於テハ重キ制裁ヲ科スルト云フ方ガ却テ適當デハナイカト思ヒマスガ、本人ガ偽ヲ言ツテ責任ガナイ、過ッテ下付スル、不當ノ利益ヲ獲得スル、査定ガ一度定マツタ以上ハ動かカスコトヲ得ズ、民事裁判所ニモ行政裁判所ニモ訴フルコトガ出來ナイ、一度本人ノ言フ所ヲ信ズル信ゼザルニ基クト言ハナケレバナラス、證人鑑定人アリト雖モ、本人ガ主張シタル事實ニ副フヤ否ヤヲ見ルニ止マルノデアリマスカラ、責任ハ本人ニ重キヲ置カナケレバナラ

ヌ、本人宣誓ヲ認メザル理由ハドウ云フ關係デアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君) チョット唯今ノ御尋ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセヌガ、本人ニ宣誓ヲ命ズルト云フコトニ付キマシテハ、近來ノ立法、我國ノ立法ニ於テハ段々其説方是認セラレテ來テ居ル傾向デアリマス、御承知ノ刑事訴訟法改正案審議ノ際ニモ、告訴人、告發人等ニ宣誓ヲ命ズルノガ適當デアルト云フヤウナ有力ナ議論モアッタノデアリマスガ、是ハ不幸ニシテ通過イタシマセヌデシタ、併シ今日民事訴訟法改正ノ事業ニ著手シテ居リマスガ、是ハマダ確定シタコトデハゴザイマセヌケレドモ、其審議ニ於キマシテハ、矢張り本人ニ宣誓ヲ命ズル方ガ適當デアラウト云フヤウナ議論モ随分出テ居リマス、實ハ此法案ノ第八條ニハ宣誓ヲセシメ、當事者ヲ訊問シテ宜シイ、則チ本人宣誓ヲ認メマシテ、本人宣誓ヲ認メル以上ハ、ドウシテモ宣誓ニ違反シタ場合ニ於テハ無制裁ト云フコトハ適當デナイ、苟モ宣誓ヲシテ、サウシテ虛偽ノ陳述ヲスルト云フコトニナレバ相當重イ制裁ヲ科スルト云フコトハ、今日ノ實際ノ立場カラ考ヘテ必要デアラウト思ヒマスカラ、第一項、第二項ニ斯ウ云フ規定ガ出來マシタ次第デアリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 唯今ノ本員ノ言葉ガ足りナカッタ爲ニ、誤解ヲ生ジタカ知レマセヌガ、私ノ趣旨ハ本人ノ宣誓ノミニ止メテ、證人、鑑定人ノ規定ハ寧ロ取去ラレタ方ガ宜シクハアルマイカ、本人ガ法律ノ上ニ責任ヲ負ウテ宣誓ヲシテ、偽ヲ言フタ

ナラバ刑罰ニ處セラレルト云フコトヲ申スノデアリマスカラ、ソレノミニ止メラレテ、證人、鑑定人ト云フモノニ至ルマデ調ベテ煩ハスト云フ必要ハアルマイ、是アルガ爲ニ本件ガ裁判行爲ナリヤ行政行爲ナリヤ、行政行爲ノ訴訟手續ニ證人鑑定人ヲ許スト云フコトガ適當ナリヤ適當ナラズヤト云フ問題ガ起リマスガ、當事者宣誓ノミニ満足セラレヌ譯ハ如何デアリマセウ、斯ウ云フ意味デアルノデアリマス

○政府委員(林頼三郎君) 先程、御問ノ趣旨ヲ誤解シテ御答ヲ申シマシタ、御問ノヤウナ御意見モ、一面カラ見テ誠ニ理由アリトモ考ヘマスガ、併シ今日ノ實際カラ考ヘマスルト云フト、本人ガ宣誓ヲシテカラ、ソレニ全幅ノ信用ヲ拂ツテ、ソレニ依テ此法律ニ依テ、特ニ新シク下付スルヤウナ行政處分ヲ決メル、斯ウ云フコトハイカスト考ヘマス、本人宣誓モ事實ノ正確ヲ期スル上ニ誠ニ必要ナリトモ思ヒマスガ、ソレト共ニ他ノ關係者等モ十分調ベマシテ、サウシテ万一ノ過ナキヲ期スルト云フ方ガ適當デハアルマイカ、斯ウ云フ考デ出來テ居リマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 花井君ニ御諮リ致シマスガ、大藏大臣ニ先程御質問ノ御要求ガアリマシタガ、又必要ガアレバ何時デモ御出席ハ求メマスガ、豫算總會デ大藏大臣ヲ呼ンデ居ラレマスガ、如何デアリマスカ

○花井卓藏君 イエ……承リタイ

○國務大臣(濱口雄幸君) 先刻ノ御尋ノ點ニ付キマツテ審査會ノ性質、是ハ司法次官カラモ御答ヲ

シマシタ通り、ドコマデモ事實ノ審査ヲスルバカリデアツテ、其審査ノ性質、行政行爲デアルト云フコトニ政府ノ解釋ハ一致シテ居ルノデアリマス、尙ホ種々ノ點ニ於テ法律上ノ關係其他御疑ノ點モアラウト思ヒマス、又他ノ法律トノ權衡ト多少違例ニ移ル點モアルカ如レマセウ、申スマデモナク、此法案ハ詰リ曠古未會有ノ大震災ノ結果ニ依テ、其損害ヲ受ケタモノヲ救済スルト云フ權宜ノ處置デアリマス、普通ノ證券ノ關係ト離レテ、全ク臨時權宜ノ處分デアルト云フ點ノ御諒解ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、是ダケ私カラ……

○花井卓藏君 當事者ガ宣誓ヲシテ虚偽ノ陳述ヲスル、ソレガ基トナツテ新證券ヲ下付スルコトニナル、後ニ偽證デアルト云フ事柄ガ發覺シテ當事者ガ責任ヲ負フ、更ニ進ンデ私ハ詐欺ト云フ罪モ成立スルダラウト思フ、偽證罪及詐欺罪ガ成立スルダラウト思フ、ソレナラバ隨分重イ責任ノヤウニ考ヘラレル、併ナガラ證人鑑定人ト云フモノガ無ケラネバドウシテモ分ラヌト云フ事例ガ想像サレルナラバ、是モ一ツ考ヘナケレバナラヌノデスガ、全體、滅失紛失ノ場合ニ於テ、證人ニ依テ得ムト欲スル事項ハドンナモノデアリマセウカ、又此鑑定ニ依テ得ムト欲スル事項ナドアルモノデアリマセウカ、之ヲ一ツ實例アリサウナモノヲ摘ンデ御説明ヲ煩シタイ

○政府委員(林頼三郎君) 實例ト仰シヤルト甚ダドウモ具體的ニ申上ゲルノハ困リマスガ、併シ供託シタ證券ノヤウナ場合ハ、是ハ御承知ノ通り供託ノ場合ハ色ミナ關係人ガアリマスカラ、サウ

云フ關係人ヲ併セ調ベマスト供託シタカセヌカ、又供託シタ證券ノ種類ハ何デアアルカト云フコトガ極メテ明瞭ニケルト考ヘマス、又供託サレナイ場合ハ一個人デ持ツテ居ッタ、銀行ニヤツテ居ッタ云ヤウナモノニ付キマシテハ、之ヲ紛失シタカ滅失シタカト云フ事實ヲ明カニスルノニハ單ニ本人ノ申立ダケデハ十分ハッキリシナイ、併ナガラ或者ニ託シテ餘處ニ預ケタト云フヤウナ關係ガアレバ其託サレタト云フ關係人ヲ調べルト云フコトガ、事實ノ真相ヲ明カニスル爲ニ關係シタモノヲ調べルトコトガ實際必要上ダラウト考ヘマス、ドンナ場合ト申スト大體ソナコトヲ考ヘテ居リマス

○花井卓藏君 鑑定ハドウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是モ私共能クサウ云フコトヲ詳シクハ存ジマセヌガ、承ツテ居ルト證券ナンカラ燒キマシテ、サウシテ極ク一小部分ガ殘テ居ル、或ハ何カ僅カナ部分ガ殘ツテ居ル、ソレガ果シテ何ノ證券デアアルカト云フヤウナコトハ、適當ナ知識ヲ持ツタモノデナケラネバ分ラヌサウデアリマスガ、ソレハ能ク慣レタ人ニハ僅ナ所デ分ルサウデアリマス、又ソレヲ見マスルノモ餘程特別ナ其道ノ技術ヲ要スルサウデアリマス、サウ云フ人ガ見レバ普通ノ人ガ見エナイヤウナ所マデ能ク見エルト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレ等ノ事項ガ滅失紛失ノ査定ヲシマスルニ付テ、蓋シ起ツテ來ヤシマイカト思ヒマス、又其外ニモ素人デ分リ兼ねルヤウナコトガ起ツテ來ルノモアリハシナイカト實ハ考ヘテ居ル

○花井卓藏君 審査會ノ官制案ハ出來テ居ルデス

カ

○政府委員(林頼三郎君) 大體ノ腹案ダケハゴザイマスガ、マダ確定的ニ纏マツテ居リマセス

○花井卓藏君 此官制ヲ作ル程、困難ナルモノハナイト私ハ考ヘル、同時ニ此官制ヲ見タヤウナ氣ガ頻ニスル、名ハ審査會ト云フト雖モ行政行為ト云フト雖モ、實際ハ當事者ヲ取調スル、其當事者ノ申立ノ眞實ナリヤ否ヤヲ取調スル、其申立ノ眞實ナリヤ否ヤヲ査定ナル行政行為、實質ハ裁判行為、之ヲ行フ資料ニ供スベク證人鑑定人ヲ訊問スル、而シテ其手續ハ民事訴訟法ニ依ルト規定シテモナシ、刑事訴訟法ニ依ルト規定シテモナイ、悉ク官制ニ依ラル、コトト思フ、ソコデ官制ハ更ニ本法ノ精神ヲ貫クヤウニ單ニ査定ト云フテモ、法文ニ査定ノ字ガ用ヒラレテ居ルニ過ギナイ、一度スル査定モ査定デアリ、再ビスル再査定モ査定デアルト云フヤウナコトモ、考ヘテ見ナケレバナラスト云フヤウナコトガ起ルダラウト思フ、實體的ニ法律のニ準テ此官制ニ、本法ヲ通過セラレタ上ハ護ッテ仕舞フト云フ結果ニナル、不文ノ違例ノ立法ヲスルヤウニナルヤウニモ考ヘラレマスガ、形デモアレバ拜見スルト安心シテ贊成ガ出來ルノデアリマスガ、サウ云フ形ノモノモ今ハ御示シニナルコトガ出來ヌデセウカ

○政府委員(林頼三郎君) ドウモ形ニ現ハシテ申上ガルト云フトハ困難デアリマス、併シ大體ノ組織ハ司法省及大藏省トノ關係者ガ一ツノ合議體ヲ組織シマシテ、其處デ十分ニ査定ヲ致ス、斯ウ云フトコトニシタイト考ヘル

(速記中止)

○委員長(子爵前田利定君) 速記ヲ始メテ宜シイ、御質疑モ先ツ盡キヤウニ思ヒマスカラ討議ニ入リタイト思ヒマス、全部ヲ議題ニ供シマス、御意見ガゴザイマスルナラバドウカ此際御陳述ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 私ハ立法自體ニ疑點ハアルノデスガ、疑點ガアルノミナラズ寧ロ此法律ノ如キモノガ他ノ問題ノ先例トナツテ、繰返ヘサレルコトヲ欲セザルガ故ニ不安ヲ感ズル點ガ甚ダ多イノデアリマス、併シ震災ニ件フ、理由書ニ書イテアル通リノ事情ヲ諒トシテ、贊成ハ致シマスガ、質問ノ際ニモ申上ゲマシタ通り此運用ト云フトコトハ行政行為ニハ違ヒナイケレドモ、實行ハ裁判デアツテ、而モ新タニ權利ヲ創設スルノデアルカラ餘程注意ヲ加ヘナイト……ソコデ審査會ノ組織、權限、其他審査ニ關スル事項、審査ヲ爲スニ付テノ用意ハ十分ナル御留意ヲ御拂ヒ下サルコトヲ欲スルノデアリマス、必ズ御注意下サルデアラウト云フトコトヲ暫ク信ジテ私ハ贊成イタシマス

○藤田四郎君 私モ唯今ノ花井君ノ御説ト略、同様ノ考ヲ以テ原案ニ贊成イタシマス、尙ホ唯今、政府委員ノ御説明ニ依リマシテ、之ニ似タ所ノモノニ付テハ相當考慮セラル、ト云フトコトデアリマスガ、取り分ケ供託ノ分ニ付テハ一ツ速ニ御調査ヲナスツテ、政府ノ信賴ヲ失ハヌヤウニシタイト思ヒマス、是ダケ御注意ヲシテ原案ニ贊成ヲ致シマス

○委員長(子爵前田利定君) 他ニ御反對ノ御意見

ノ御陳述モ無イヤウデアリマスガ、全部御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノト認メマシテ本案ハ可決サレマシタ、次ニ復興貯蓄債券法案ニ付テ無議ヲ致シタイト思ヒマス

○政府委員(富田勇太郎君) 唯今大藏大臣ハ豫算會デ答辯中デアリマスカラ、私カラ代リマシテ御説明ヲ致シマス、此復興貯蓄債券ノ發行ノ大體ノ要領ヲ申上ゲタイト存ジマス、第一ハ其目的デアリマスガ、本債券發行ノ目的ハ、一面ニ於キマシテハ御承知ノ如ク大正十三年度カラシテ十七年度マデニ政府ガ此復興復舊ノ關係ニ於キマシテ支出シマスル所ノ金額ハ、約十二億圓ニ達シテ居ルノデアリマシテ、其金ハ自然ニ勞銀等トナリマシテ、下層勞働階級ニ散布シマスルノデ、ソレヲ抛テ置キマスルト云フト、此社會ニ於ケル消費ヲ助長シ奢侈浪費ト云フヤウナ弊風ヲ増シマスカラ、或手段ヲ講ジマシテ、サウ云フ散布シマシタ所ノ零碎ナル資金ヲ吸收シマシテ、一方ニ於テハ消費ノ節制、貯蓄ノ獎勵ノ手段ト致シマス同時ニ、ソレニ依テ集メマシタ所ノ其資金ハ之ヲ以テ震災地ノ經濟的復興並ニ地方産業ノ振興ニ使フト云フ所ノ、一舉兩得ノ策デアルト考ヘマシテ、茲ニ復興貯蓄債券ヲ發行スル計畫ヲ立テテ譯デアリマス、デ此債券ノ發行ハ日本勸業銀行ヲシテ發行サセマス、是ハ從來、日本勸業銀行ハ割増金附債券ヲ發行シテ居リマシテ、斯ウ云フ債券ノ發行ニハ非常ナル經驗ヲ有ツテ居リマスルカラシテ、勸業銀行

ヲシテ發行セシムルヲ以テ最も便宜ト考ヘテ居ル
ノデアリマス、ソレカラ債券ノ金額ハ五圓又ハ十
圓ノ二種ト致シマシテ、無記名デアリマス、ソレ
カラ發行ノ方法トシマシテ、今回ハ利子据置、則
チ最後ニ利子ヲ拂ヒマスノデ、償還ノ際ニ此利子
ヲ複利デ計算シマシテ、其金額ヲ一時ニ附ケテヤ
ルト云フ利子据置ノ方法、モウツハ割引ノ方法
デゴザイマス、ソレハ例ヘバ十圓ノヲ五圓デ發行
スルト云フヤウナ方法デ發行シマス、詰リ發行ノ
方法ハ利子据置ト割引トノ二ツノ方法ガアルノデ
アリマス、ソレカラ利率及割引ノ金額ハ共ニ基本
利率ヲ四分ニシタイ考デアリマス、則チ利子据置
ト云フ場合ニ於キマシテハ四分ノ複利デ計算イタ
シマシテ、丁度償還期限ヲ十七年三箇月トシマス
ルト云フト、十七年三箇月目ニ丁度五圓ノ元金ガ
十圓ニナルト云フ計算ニナリマス、又割引ノ發行
ノ場合ニ於キマシテモ、同ジク四分ノ複利計算デ
參リマスルト云フト十七年三箇月ノ期限ノ證券
ハ、丁度十圓ノ證券ヲ今五圓デ發行スレバ、同ジ
四分ノ複利ニナルノデアリマス、ソレカラ之ニハ
割増金ヲ附ケルノデアリマシテ、此割増金ヲ附ケ
マスル所ノ方法及金額ニ付キマシテハ、主務大臣
タル大藏大臣ガ其時ノ狀況ニ應ジマシテ、之ヲ定
メ得ルコトニ致シテ居リマス、大體割増金ノ標準
ハ現在勸業銀行ガ其發行シマシタ所ノ割増金附債
券ニ附ケテ居リマス所ノ金額ヲ最高限トシマシ
テ、其範圍内ニ於テ附ケタイト考ヘテ居リマス、
ソレカラ本債券ニ付キマシテハ印紙稅ヲ免除シマ
ス、又其登記ニハ登録稅ヲ免除シマス、又其利子

ニハ所得稅ヲ免除スルト云フコトニナツテ居リマ
ス、ソレカラ發行最高額ト發行時期ニ付キマシテ
ハ、本法施行ノ日カラ五年ヲ經過シマスル時ハ之
ヲ發行シナイ、又其期間内ニ於ケル本債券ノ發行
ニ依リマス所ノ收入金ガ二億圓ニ達シマシタ場合
ニ於テハ、ソレ以上發行ハシナイ、詰リ一年約四
千萬圓、四五ノ二億圓ト云フ計算デ行ク考デア
リマス、デ第一回ノ發行ハ、是ハ勸業銀行ニ於キ
マシテ證券ノ印刷ナリ其他ノ手配ノ爲ニ約八九十
日掛リマスコトニナツテ居リマスルカラ、本法ガ成
立シマスルト直グニ準備ニ掛リマシテ、多少前ニ假
リノ準備ハシテ居ルノデアリマスルガ、最も早クシ
マシテ今年ノ九月ノ半ベ頃ニハ第一回ノ發行ガ出
來ルカト考ヘテ居リマス、ソレカラ此債券ノ發行
ニ依テ得マシタ所ノ資金ハ預金部ニ預入レニシ
テ、預金部ハ其資金ヲ以テ前ニ申シマシタ如ク、
此震災地ノ經濟的復興及震災地外ノ産業振興ノ爲
ニ之ヲ融通スル計畫デアリマス、ソレカラ其融通
スル場合ニ於キマシテ資金ノ割振リハ、大體ニ於キ
マシテ震災地ノ復興ノ爲ニ二千萬圓、震災地以外
ノ産業振興ノ爲ニ二千萬圓、詰リ折半シテ之ヲ
使ツテ行クト云フ計畫デアリマス、從來、勸業銀
行ハ割増金附債券發行ニ依テ最近二三年間年額約
千五、六百萬圓ヲ發行シテ居リマスノデ、此債券
ノ發行中ハ勸業銀行ハ自分ノ割増金附債券ヲ發行
シナイト云フ方針デアリマスルカラシテ、其代リ
トシテ、預金部カラ此債券ニ依テ得マシタル所ノ金
ヲ勸業銀行ニ渡シマシテ、此勸業銀行ニ於テ地方
産業資金トシテ融通セシメルト云フ方法ヲ執ル考

ヘデアリマス、ソレカラ利率ノコトデアリマス
ガ、此前申シマシタヤウニ年四分デアリマシテ、
割増金ハ約一分五厘内外ノ考デアリマス、ソレニ
此勸業銀行ノ要シマスル所ノ發行費及毎年ノ元利
拂ニ要シマスル所ノ經費ヲ入レマシテ、詰リ經常
臨時費ノ合計ガ約五厘ニナツテ居リマスル、四分
ノ利率ト、割増金一分五厘、經費ガ五厘合計六分
ガ此發行ノ總經費デアリマス、是ダケノモノヲ預
金部カラ勸業銀行ニ利子トシテ拂ツテヤルト云フ
計畫デアリマス、今ノハ利子据置ノ場合ノ計算デ
アリマスガ、割引發行ノ場合ニ於キマシテハ割増
金ノ外ニ中途償還ト致シマシテ最後ノ償還期ニ達
シマスル迄ニ毎年抽籤ヲ以テ償還イタシマス、其場
合ニ於テハ五圓ダツテモ直グ十圓ニナリマスカラ
シテ、其中途償還ノ差額ト申スモノガアリマスカ
ラシテ比較的經費ガ殖エマスルノデ六分五厘或ハ
七分近クニ迄モナルコトカト考ヘマスルガ、成ル
ベクナラバ利子据置ノ方法ヲ以テ當分ノ間ハヤッ
テ行キタイ考デアリマス、併ナガラ其方法デ成功
イタシマセヌ場合ニ於テハ或ハ割増金附ノ發行ヲ
交ヘテヤラウト云フ計畫デアリマス、ソレカラ此
預金部ハ其資金ヲドウ云フ方法ニ依リマシテ震災
地以外ニ之ヲ融通シマスルカト申シマスルト、震
災地ニ於キマシテハ市町村或ハ産業組合並ニ本建
築ヲ爲ス者、其他ノ小サイ商工業者ニ貸付ケル豫
定デアリマス、其震災地ニ於キマシテハ、成ルベ
ク擔保ノ無イ者或ハ擔保ノ不十分ナル者ニ對シマ
シテモ貸付ケ得ルヤウニ、成ルベク考慮イタス考
デアリマス、ソレカラ震災地外ニ於キマシテハ勸業

銀行が割増附債券ノ發行募集金ヲ融通シテ居リマ
スヤウニ、地方ノ公共團體耕整組合、産業組合、
森林組合、漁業組合等ノ組合其他個人ノ貸付ト申
シテ居リマシテ、詰リ田畑、鹽田或ハ森林、サウ
云フモノヲ擔保ニシテ貸付ケルト云フコトニ致シ
タイ考デアリマス、ソレカラ融通ノ利率ハ從來預
金部カラ震災地ノ經濟的復興ノ爲ニ勸銀ナリ與銀
ナリヲ通ジマシテ、出シテ居ル金ガアリマスノ
デ、大體サウ云フ融通金ノ利率ト權衡ヲ取リマシ
テ進ンデ行キタイ考デアリマス、地方ニ貸付ケマ
スル金ニ付キマシテハ是ハ勸業銀行ノ貸付ニ對シ
マシテ毎年大藏省ガ利率ノ認可ヲシテ居リマス
デ、其認可利率ヲ標準ニシテ貸付ケテ行キタイ考
デアリマス、大體、今當局デ考ヘテ居リマスル本
債券發行ノ計畫ノ大要ハ今申上グタ通りデアリマ
ス

○委員長(子爵前田利定君) 御質疑ガゴザイマス
レバ此際願ヒマス

○藤田四郎君 チョット聴キ漏シマシタガ、サウ
スルト此金ハ勸業銀行ヲシテ皆融通サセル目的デ
アリマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 此債券ノ募集ニ依テ
得タル資金ハ一方震災地ノ復興、ソレトモウ一ツ
ハ震災地外ノ産業ノ振興ニ使フ計畫ニナッテ居リ
マス、ソレデ震災地ニ於キマシテハ或ハ之ヲ市町
村公共團體ニ對シテ貸ス場合モアラウカト存ジマ
ス、其他勸業銀行、興業銀行、農工銀行等ヲ通ジ
テ貸付ケルノデアリマス、其他是ハマダ研究ハ致
シテ居リマセヌケレドモ、東京市ノ實業組合聯合

會ト云フ方デ一ツノ信用組合ヲ作りマシテ其方ニ
金ヲ出シテ與レト云フ要求ガアリマスルガ、成ル
ベクサウ云フ方面ニモ出シタイト考ヘテ目下研究
中デアリマス、震災地外ニ於キマシテハ公共團體
……勸業銀行ナリ農工銀行ヲ通ジマシテ公共團體
及各種ノ組合或ハ相當ノ擔保ヲ取リマシテ個人ニ
貸付ケル計畫デアリマス

○藤田四郎君 此貸付ケマシタリ、融通シタリス
ル方法ハ何レヲ通スト云フコトヲ伺ッタノデアリ
マスガ、政府ハ勸業銀行ヲ通スノデアリマスカ、
或ハ市町村ニ直接ヤル場合モアルノデアリマス
カ

○政府委員(富田勇太郎君) 今申シマシタヤウニ
此預金部カラ勸業債券ナリ或ハ興業債券ナリ或ハ
地方債ヲ引受ケマシテ、サウシテ貸付ケル譯デア
リマス、勸業ノミデハアリマセヌ、他ノ特殊銀行
モ通ジマス考デアリマス

○藤田四郎君 サウスルト是ハ大變零碎ナ所ヘ皆
貸付ケ融通セラル、ノデゴザイマセウガ、政府ガ
一々之ヲ爲サルノデアリマスカ、區別ヲナサルノ
デアリマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 政府トシテハ勸業債
券ナリ興業債券ナリニ應募シマシテ、ソレ以上ハ
勸業銀行ナリ興業銀行ガ今ノ債券ノ引受ニ依テ得
タル資金ヲ貸付ケル譯デアリマスガ、貸付先ニ對
シテハ政府ハ大體標準ハ決メマスケレドモ、個々
ニ付テハ干涉シナイ方針デアリマス

○藤田四郎君 サウスルト其中ノ内譯デゴザイマ
スルガ、是ハ復興債券ト云フノデアリマスガ、二

億ノ金ガ要ル所カラ斯ウ云フコトハ出タノデゴザ
イマセウ、此金ハ二億圓ヲ分ケルノデゴザイマス
ガ、其中、震災ニ關係ナイ所ヘドノクラキ出スノ
デゴザイマセウカ、此際勸業銀行ハ發行セナイト
云フコトデアリマシタガ歩分ケハドノ位デアリマ
スカ、震災地ト震災地外ト……

○政府委員(富田勇太郎君) 大體、此當局ノ豫定
デハ毎年四千万圓位ハ募集ガ出來ヤウカト考ヘテ
居リマス、サウシマスルト云フト其四千万圓ノ内
半額ノ二千万圓ダケヲ震災地ノ經濟的復興ニ使ヒ
マシテ、他ヲ地方ニ使フ考デアリマス、ト申シマス
ルノハ勸業銀行ガ最近此二三年間毎年千五、六百
万圓ノ割増附債券ヲ發行イタシマシテ、ソレヲ地
方ノ此融通ニ使ッテ居ッタノデアリマス、ソレヲ減
ラスト云フコトハイカスト考ヘマシテ毎年二千万
見當ノ金ヲ出シテヤラウト云フ計畫デアリマス

○藤田四郎君 此割増金ハドノ部デアリマスカ

○政府委員(津島壽一君) 第四條第二項ニアリマ
ス

○藤田四郎君 今日賭博的ノコトニ付テハ、段々
綱紀肅正トカ何ト云ッテ、餘程風紀ヲ改ムル必
要ガアルト思ヒマス、今御説明ニ依リマス、從
來發行シテ居ル額ヨリ殖ヤセナイ、其上ハサセナ
イ、割増ノ額ハ二百倍トカ五百倍トカ云フノガア
リマス、ソレヨリ上ハナサラスト云フコトデアリ
マス、勅令デ是ガ自由ニ出來ルヤウニナッテ居リ
マスケレドモ、ソレハ差支ナイノデゴザイマセウ
カ、斯ウ云フモノハ法律ノ上ニ載ッテ居ルノデア
リマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 從來、勸業銀行ガ此割増金附債券ヲ發行シマス際ニ於キマシテハ、割増金ノ金額ニ於キマシテハ一々主務大臣ノ認可ヲ經ルコトニナツテ居リマス、勸業債券發行令ノ規定ニ依テ主務大臣ノ認可ニ依テ出來ルコトニナツテ居リマス

○藤田四郎君 元ノ法律デハ……割増ハ今ドウナツテ居リマスカ、割増ト云フモノハ二百倍ヲ超ユルコトガ出來ナイト云フヤウニ……

○政府委員(富田勇太郎君) 貯蓄債券ノ場合ニ法律デ規定シテ居リマス、併シ其後勸業銀行デ發行スル場合ニ法律ノ規定ハナク、主務大臣ノ認可デ以テ發行イタシテ居リマスカラ、法律ニ規定ハ要シナイト考ヘマス

○藤田四郎君 今何倍ガ最低デ……

○政府委員(津島壽一君) 御答イタシマス、勸業銀行ノ發行シマス割増附勸業債券ハ今日デハ五百倍ニナツテ居リマス、五千圓デス、十圓券ニ付テハ五千圓……

○藤田四郎君 サウ云フノハ今許シテ居リマスカ、現在……

○政府委員(津島壽一君) 勸業銀行法第三十六條ノ第二項ニ依リマスト最高ハ書イテゴザイマセヌ、大藏大臣ガ認可スルコトニナツテ居リマス、大藏大臣ガ現ニ認可シテ居リマスカラヤツテ居リマス

○藤田四郎君 五百倍ノハ何時カラデスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 五百倍ニナリマシタノハ大正十一年三月カラデアリマス

○藤田四郎君 是ハモウ何遍發行シマシタ

○政府委員(富田勇太郎君) 大正十一年七月カラ今日マデ割増金附債券ノ發行ハ六回デゴザイマス、其中昨年十二月ノ分ハ割増發行ト云フモノガゴザイマシテ、其分ノハ五千圓デアッタヤウニ記憶イタシテ居リマス

○藤田四郎君 ソレカラ後ハ發行スル度ニ五百倍ニヤツテ居リマスカ

○政府委員(富田勇太郎君) 勸業債券ノ發行ニハ割増發行ト、ソレカラ普通ノ發行トアリマス、割増發行ノ場合ニハ此割増金ハズツト低クナツテ居リマス、昨年二月デアリマシタカ、發行シマシタ割増發行ノ中デ最高ハ百圓、其外ノ割増發行デナイ發行ハ矢引リ五百倍ノ割増ヲ附ケテ居リマス

○藤田四郎君 サウスルト此法律ハ割増ヲ基礎トシテ居ルノデアリマスカラ、百圓、即チ十倍ガ基礎ニナリマスデスネ

○政府委員(富田勇太郎君) 此救済ノ方法ニ依レバ、利子ヲ附ケル場合ニハ、五百倍位ヲ附ケナケレバナラスト考ヘテ居リマス、割増ノ場合ニハズツト減ラシタイト考ヘテ居リマス、併シソレモ百圓ニ致シマスカ、千圓位マデシマスルカト云フコトモ、今後發行シマス實績ニ依リマシテ考ヘタイト思ツテ居リマス

○委員長(子爵前田利定君) チョット政府委員ニ伺ヒマスガ、先程募集シ得タ資金ヲ折半シテ、一半ハ震災地ノ復興ノタメ、他ノ一半ハ地方産業振興ノ爲ニバラ撒クト云フコトデアリマスガ、併シ其方法トシテハ、政府ガ直接ニ散布スルノデハナク

シテ、興業債券ナリ勸業債券ナリヲ買ツテ、其特殊銀行ノ手ニ依テ、ソレト金融ヲヤラセルト云フ御説デアアルノデスガソレデ巧イ工合ニ半々ニ行クモノデスカ

○政府委員(富田勇太郎君) ソレハ預金部ニ於キマシテ、特別經濟ト致シマシテ、別ニ款項ヲ分ケマシテ、計算シテ行クト出來スコトハナカラウカト思ヒマス

○男爵池田長康君 先刻、御説明ガアリマシタノニ、チョット聽キ落シマシタガ、ソレハ借入者ハドノ位ノ利子デ借り入レルノデスカ

○政府委員(津島壽一君) コチラカラ融通シマス利率ハ震災地ノモノト、地方産業ノ振興ノ爲カラ來ルノ二ツガゴザイマシテ、先ヅ第一ノ震災地ノ復興ノタメ貸付ケル利率ハ、今日モ既ニ預金部等カラ資金ヲ融通シテ居リマス、其利率ニ依リ積リデゴザイマス、ソレハ大體八分五厘ト云フコトニナツテ居リマス、尤モ特殊ノモノハ是ヨリモ餘程低率ニナツテ居リマシテ、特殊ノモノニ付キマシテハ、實際融通ヲ致ス場合ハ、能ク考慮イタシマシテ、適當ノ利率ヲ決メルコトニナツテ居リマス、ソレカラ地方産業ノ方ニ關シマシテハ、此收入金ハ勸業銀行或ハ農工銀行等ノ債券ヲ引受ケ、其勸業銀行、農工銀行ガ直接個人ヤラ地方團體等ニ貸シマシテ、其勸業銀行カラ貸シマス利率ハ、勸銀ガ引受ケテ貸付ラスル利率ハ、今政府ガ認可シテ居ル利率デアリマシテ、例ヘバ公共團體ニ貸ス場合ニ七分六厘、田畑、鹽田、山林等デハ七分八厘デアリマシテ、宅地ナリ建物ヲ擔保ニシ

マスカ合ニハ八分七厘ト云フヤウニ今日ノ認可利
率ニ依テヤツテ居マス

○男爵池田長康君 震災地ノ方ハ八分五厘ト云フ
コトニナツテ居ルヤウデスガ、是ハ直接需者ノ
方ニ於テ八分五厘デ借リラレルカ

○政府委員(津島壽一君) 左様デゴザイマス

○男爵池田長康君 ソレカラ震災地ト地方トガ、
斯ウ云フ風ニ利率マデ違フノハドウ云フ關係デア
リマスカ

○政府委員(津島壽一君) 震災地ニ於キマシテ
モ、例ヘバ田畑トカ山林トカニ付キマシテハ、地
方ト同ジヤウデアリマスガ、唯今八分五厘ト申シ
マシタノハ、工業者ノ復舊資金デアル、小工業
者、大工業家ノ救済資金デアルトカ、震災ノ關係
上、是等ガ必要トナツタ、是等ノモノニ關シマシタ
利子デアリマス、若シソレ以外ノ例ヘバ震災地ニ
アリマス田地ヲ擔保トスルト云フコトニナリマス
ト、普通ノ勸業銀行ノ地方ニ於ケル田畑ニ貸ス利
率ニ依ルト云フコトニナリマス

○男爵池田長康君 ソレカラモウ一ツチヨット伺
テ置キタイ、此理由書ニ復興及地方産業ノ振興ト
アリマスガ、此地方ト云フノハドウ云フ意味デア
リマスカ、矢張り復興事業ニ關係シナイ場合ニ於
テハ東京モ矢張り此中ニ加ハルノデアリマスカ
○政府委員(富田勇太郎君) 此理由書ニ書イテア
リマスル震災地及地方ト申シマスルト云フト、震
災地ハ東京府外五縣、其範圍ガ震災地デアリマ
ス、ソレ以外ヲ地方ト云フテ居ル譯デアリマス、併
ナガラ實際ニ於キマシテハ震災地ニ於キマシテモ

尙ホ他ノ地方ト同ジク此復興ニ關係ノ無イ、詰リ
例ヘバ震災地ニ於テ此田畑、鹽田トカ、サウ云フ
モノヲ擔保ニスルトカ、或ハ震災地ノ産業組合、
普通ノ産業組合、或ハ耕地整理組合ト云フヤウナ
モノカラ借りニ來ルモノモアリマスカラ、サウ云
フモノハ矢張り震災地外ノ地方ト同ジ條件デ貸シ
テ居ル譯デアリマス、此資金ヲ割付ケマスル場合
ニ於テ東京府外五縣ガ二千万圓、ソレ以外ノ分
トシテ二千万圓デアリマスルカラ、勸業銀行ガ從
來割増附債券ニ依テ貸出シテ居リマス方面トシマ
シテハ、是ハ震災地タルト何タルト問ハズ通ジ
テ全部出ス譯デ、實際ニ於キマシテ今ノ耕地整理
組合或ハ森林組合、サウ云フモノ等ニ從來勸業銀
行カラ融通ヲ受ケテ居タト云フモノハ二千万圓
以上ノ資金ヲ受ケルコトニナルト考ヘテ居リマス

○藤田四郎君 勸業銀行ハ四分ノ利率デ割増其他
ノ費用ヲ見テ、ドレ位ノ割合ニナリマスカ
○政府委員(富田勇太郎君) 其點ハマダ正確ニ極
メテ居リマセヌガ、今ノ利子ガ四分デ割増金ガ一
分五厘内外、ソレカラ經費ガ五厘デ合計六分ノ總
經費ガ掛ル譯デ、ソレカラソレヲ預金部ハ何等利
益ヲ見ル考ハアリマセヌカラシテ六分デ宜シイノ
デアリマス、併ナガラ從來震災地ナリ他ノ方面ニ
於キマシテモ大體貸付利率ノ標準ガアリマスカラ
餘リ低イ利率デ貸シマシテモ金融界ヲ亂シテモド
ウカト考ヘマシテ、成ルベク低利ノ率ヲ希望シマ
スケレドモ、從來カラ考ヘマシテ餘リ低イ率デ貸
シマシテモドウカト思ヒマスカラ、相當ノ程度ニ
止メタイト思ヒマス、ソレデ預金部ニ於キマシテ

大體六分五厘カ、七分位デ銀行ニ融通シマス、
銀行ハ大抵一分位ノ利ヲ取リマスガ、サウスル
ト銀行ハ八分五厘位デ貸シマス、或ハ一分五厘位
ノ利ニモナラウト思ヒマス、併シソレハ從來ノ利
率デアリマスルガ、將來ハ八分位ニ下ゲタイト思
ヒマス、銀行ハ普通一分ノ利ヲ要求シテ居リマ
スカラ、マア八分位ニ止メタイト考ヘテ居リマ
ス、併ナガラ或ハ預金部カラ幾ラデ融通シ、或ハ
銀行カラ幾ラデ融通スルト云フコトハ、其貸出ス
モノニ依リマシテ、或ハ銀行ニ依リマシテ、相當
差等ヲ設ケタイト考ヘテ居リマス

○藤田四郎君 實ハ御尋ネスル點ハ其點カラ起ル
ノデアリマシテ、ソレデ伺ツタノデゴザイマスガ、
町村ナリ其他ノ、或ハ興行銀行ナリ債券ニ應ズ
ル、サウシテソレヲ復興ノ爲ニ使ハウト云フ考デ
勸業銀行ト其他ト區別サレルコトハ宜クナイ、大
體復興ガ目的デ出來タノデアリマスカラ、勸業銀
行ハ唯地方産業ノ世話ヲシタダケデ利益ヲ得ナイ
ト云フカモ知レマセヌガ、矢張り他ノ方モ儲ケヌ
ヤウニナサツタナラバ、自然利ヲ少クナツテ、人
民ガ使フ場合ニ安クナル譯デアアル、即チ世話ヲス
ル以上ハ當然一分ノ費用ハ掛ルデゴザイマセウガ、
八分五厘ノモノガ七分五厘デモ七分デモ行ケル
ヤウニナル、六分デ御貸シニナレバ七分デモ使ヘ
ルヤウニナル其點ヲ御伺ヒシタイト思フノデアリ
マス、ドウカソレハ餘リ等差ヲ付ケナイヤウニ、
政府ガ信用シナイモノニハ貸ス譯ハナイト思ヒマ
スガ、信用ヲシテ貸ス以上ハ安クシテ目的ヲ達セ
シムルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ割引

ヲシマスニ付キマシテハドレ位デ……先ヅ今日ノ御考デハ十圓ノ債券デドレ位ニナサラウト云フ……固ヨリ其時ニ依テ違ヒマセウガ……利息ノ標準ガ……

○政府委員(富田勇太郎君) 此割引發行ニ付キマシテモ大體基本利率ハ四分デ行キタイト考ヘテ居リマス、即チ此期限ヲ十七年三箇月ト云フコトニシマシテ、額面十圓ノ債券ヲ今五圓デ賣リマスト丁度四分ノ複利ト云フコトニナルト思ヒマス

○藤田四郎君 是ニハ十九年トナツテ居リマスガ○政府委員(富田勇太郎君) ソレハ法律ニユトリヲ置キマシテ、臨機ニ多少變更ノ餘地ヲ見テ居リマス

○花井卓藏君 理由書ニ付テ伺ヒマスガ、名ハ復興貯蓄債券アルケレドモ、一面ハ震災地ノ復興、即チ復興貯蓄債券ニ該當スル、一面ハ地方産業ノ振興ニ必要ナル資金ノ調達、換言スレバ現在行ハレテ居ル所ノ勸業債券ト同ジモノ、斯ウ云フ風ニ讀ンデ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(津島壽一君) 此本債券ノ名前デゴザイマスガ、非常ニ困リマシタノデ、復興ト云フコトハ震災地ノ復興ノミノヤウニ考ヘラレマスガ、地方産業ノ振興ト云フコトモ此債券ノ名前ノ中ニ這入ルノデ、矢張り廣イ意味ニ於ケル震災地ノ復興及一般經濟界ノ振興ト云フ風ニ御解釋ヲ願ヒタイト思ヒマス

(速記中止)

○委員長(子爵前田利定君) ソレデヤ速記ヲ開始シテ……他ニ御質問モゴザイマセヌヤウデアリマス

ルカラ討論ニ移リタイト思ヒマス、御意見ガアレバドウカ此際……

○藤田四郎君 私共政府ノ説明ヲ聞キマシテ本案ノ必要ハ認メマスルガ、尙ホ政府ニ於テ割増等ニ付テハ將來餘程慎マレルコトヲ希望イタシマスルガ、此趣意ヲ以チマシテ原案ニ賛成イタシマス

○男爵池田長康君 私モ藤田君ノ言ハレルノニ同感デゴザイマス、尙ホ資金利用者ニ對シマシテハ成ルベク低利ニ利用スルヤウニ御盡力アルヤウニ希望イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 別ニ御反對ノ御論說モナイヤウデアリマスガ、本案ハ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノト認メマス、依ツテ可決相成リマシタ
午前十一時四十四分散會
出席者左ノ如シ

委員

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵阪谷 芳郎君

國務大臣

濱口 雄幸君

神野勝之助君
男爵池田 長康君
藤田 四郎君
高田 早苗君
花井 卓藏君

政府委員

大藏省理財局長 富田勇太郎君
大藏省參事官 荒井誠一郎君
大藏書記官 青木 得三君
大藏書記官 津島 壽一君
國有財産整理局長 太田嘉太郎君
司法次官 林 頼三郎君
司法省民事局長 池田寅二郎君
司法省參事官 長島 毅君
司法書記官 近藤 三郎君